

昇降機業界で活躍する女性の紹介

Ele-Komachi  エレ小町 No.19

1. プロフィール

名 前：小嶋 幾栄
 な ま え：こじま いくえ
 会 社 名：三菱電機ビルテクノサービス株式会社
 所 属 部 署：首都圏第二支社
 立川支店 営業課
 職 種：営業技術（営業設計）
 入 社 年 度：1996年度



2. 担当業務について

私は、入社後、昇降機の保守を経験し、現在の営業技術業務に従事してから19年が過ぎました。現在の職務は、支店における昇降機リニューアル物件の受注前設計業務及び営業商談時の技術的サポート、昇降機工事、仕様変更の見積積算等です。4年前までは、支社に所属しており、大口物件（多台数の昇降機が納められている現場）や官公庁物件を中心に受注から竣工までの設計業務を担当していました。

ゼネコンや設計事務所との打合せが多いため、女性だからと軽視されないよう、常に新商品や建築基準法の知識を身に付けスキルアップを目指しています。また、私の思い込みやミスにより、工事遅延や材料再手配等、お客様や社内関連部門に迷惑を掛けたくないよう、慎重に発言し、行動するよう心掛けています。

3. 趣味など

私はお酒が好きで、ほとんど休肝日が無いため、健康な体づくりを目的に、週末の早朝に7km程度ジョギングをしています。その効果で、最近風邪を引かなくなりました。また、ジョギングはストレス解消にもなるため、走れないと逆にストレスが溜まるようになってしまいました。今後、市民マラソン大会にも出場したいと思っています。

その他、3年前から建築関連の奥深さに興味を抱き、日常業務に非常に役立つこと、また将来、自分で設計した家を建ててみたいとの思いから建築士の資格取得に向け勉強中です。

4. 読者へのメッセージ

現在は、ゼネコンや官公庁の顧客にも女性の方を頻繁に見かける事があり、心強く感じます。

昇降機業界は、物件によって労働時間が増加することがあり、大口物件を担当していた時期は、徹夜や休日出勤が度々ありました。そのため、家庭との両立は難しい面があると思いますが、苦勞した物件が竣工した時の、職場や周りから労いの声や完遂した職務に対する評価をいただくことが、私自身のモチベーションアップになっています。これからも女性が多くの場面で活躍する事で、それぞれの立場を尊重し支えあう活気のある職場を目指して精進していきます。

5. 上長のコメント

昇降機業界での女性の活躍は、業界のイメージアップにつながり、また、職場に活気を与える良い刺激になります。女性が働く上では、精神的、肉体的にも大変な業界であり、当社においても仕事の進め方や環境に課題はあると思います。これからも職場のみんなでサポートしていきますので、引き続き活躍してくれることを期待しています。